２０２３年度決算の認定に反対しました

残業！ジェンダー格差！パワハラ！

✓職員の残業時間が多すぎる。適正な職員配置を。
✓正規・非正規ともにジェンダーギャップが著しく、待遇格差が著しい。
✓ケースワーカー、保育士、介護専門職等、重要な職務を非正規職員が担っていることは問題。
✓パワハラがない環境づくりへ実態調査を早急に。

先生足りない！

✓学校では、校長・副校長が授業を行うなど、先生の欠員は深刻。市議団も、市と共に改に向けて国都に要請を行う。
学校のタブレット導入による健康面・学力の定着について検証を。

子育てにもっと支援を！

✓自校方式の小学校給食を投げ捨て
✓幼稚園の預かり保育以外で待機児の解消を早く
✓公園の壊れた遊具やトイレの整備を複数の議員から指摘されても対策が不十分
✓白州の家施設の廃止、運動公園プール廃止。体験格差が広がる懸念。
社会教育の視点を持った検討を。
✓長年求めてきた子どもの生活実態調査が実現。どう活かすかチェックしていきます。

実質収支額（予算と決算の差額）は約２４億７千万円。単年度収支は赤字ですが、公債費比率の指標は低水準（５．０％）であり、市民サービスを拡充しない理由にはなりません。
市は、人権と環境を守る立場で税金を使い、市民のくらしを向上させる立場に立つべきです。

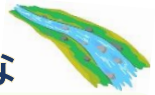
物価高騰対策はアインPAY?!

✓物価高騰に直面する市民への支援は国都の補助金頼み。法人税収減、融資の状況等からも物価高騰による市内事業者への打撃は大きい。
✓アインペイ事業は、大手家電量販店や大手スーパーに流れており、市内企業への経済効果は限定的である。

デジタル化・公民連携・不透明な契約

✓住民の福祉の向上を担う地方自治体として公民連携ありきでは自治体は空洞化する。
✓年々デジタルの経費が増大。財源不足を市民の要望に応えない理由とする一方、デジタル化には湯水のように税金を投入してきた市の事業選定は、容認できない。
✓適切とは思われない契約が相次ぎ、決算審査の中では内容が明らかにならず不透明。

深刻な気候危機
緑を守れ
開発で緑をなくすな



ゲリラ豪雨や異常気象を止めるために緑の重要性は増している。緑は東村山の最大の魅力です。
✓収益性向上への支援だけでは農地・緑地減少への歯止めとはならない。抜本的な下支え、緑地、農地の公有地化を進めるべき。

日本共産党の新政策

賃上げと一体に、労働時間の短縮を

「毎日遅くまで残業で、寝るために帰る生活」「仕事と育児、家事に追われ睡眠時間が削られる」「学費と生活費のためにバイト漬け。勉強できない」皆さんはいかがでしょうか。自由な時間を確保できないのは個人のせいでしょうか。時間外労働の規制や、勤務時間の規制、男性が家事や育児などのケアを担える働き方、ケア労働の労働環境改善は不可欠です。新政策へのご意見お待ちしています。

自分らしく自由に生きられる社会

ボランティア募集中

宣伝でプラスターを持つ・宣伝カーに乗る・ご自宅にポスターを貼る・チラシ配布・バナー作成など

しんぶん赤旗日刊紙（３４９７円）・日曜版（９９０円）購読しませんか

裏金問題、統一協会、外環道のスクープはしんぶん赤旗から。今、発行の危機にあります。応援よろしくお願いします！
２０２４年ＪＣＪ賞受賞

２０２４年 １０月号 浅見みどり通信 発行責任者■東村山市多摩湖町１丁目 浅見みどり 080-3086-2422